

三箇日、辨備饗饌、初日内藏寮設之、本宮供奉侍從已上賜、加進基手祿返遣、中日穀倉院、次日本宮、或後院儲也、

〔日本紀略一〕寛平九年七月廿六日己亥、天皇御南殿、中從三位藤原朝臣温子爲皇后、多后、字即日任職官、皇后今夜出内裏、移御於東五條堀河院、

〔日本紀略一〕昌泰元年四月廿五日甲子、中宮子温自五條宮、遷御於朱雀院、

〔日本紀略三〕天曆二年八月廿一日丁酉、此日中宮后稔子行啓召仰、廿二日戊戌、上皇雀朱中宮

遷御二條院、用新宅禮、有水火黃牛、

〔類聚符宣抄四〕右大臣師藤原宣奉勅、以明日丑刻、中宮后稔子可遷御於主殿寮、宜仰左右馬寮、依例

令牽御馬者、

天曆六年八月十九日

大外記多治真人實相奉

依有警固使給此宣旨耳

〔日本紀略五〕安和二年八月十三日戊子、天皇讓位於皇太子、中略融今日皇后子昌移御東三條、

〔日本紀略六〕貞元二年七月廿九日戊子、天皇自堀川院遷御内裏、中子刻中宮子遵行啓、有水火童女黃牛等、

〔日本紀略和〕天長九年十二月甲子、皇后子正移御后宮職東院、當誕月也、

〔榮花物語初〕寛弘五年、中三月にもなりぬれば、中宮后彰子の御けしき、中懷奏せさせ給、中略

四月ついたちに、中宮出させ給、そのほどの御ありさまいへばおろかなり、

〔扶桑略記三〕承保元年十月十六日庚辰、中宮子賢出禁中、行啓木工權頭藤原定綱宅、依懷孕七箇

月也、二年正月十三日丙午、中宮自定綱朝臣洞院宅、遷御東三條第、用鳳輦、皇子絲毛車駕、殿上侍

臣并朝大夫勤仕前駟、

○按ズルニ、皇后産前、里第行啓ノ事ハ、禮式部産子篇ニ詳ナリ、故ニ此ニハ僅ニ一二例ヲ收メ

懷孕行啓